

豊浦町議会だより

つながり



主な内容

定例会9月会議

● 一般質問	2
● 議案審議	8
● 補正予算	8
● 委員会報告	9
調査特別委員会	12

定例会7月会議

● 議案審議	15
--------	----

定例会8月会議

● 補正予算	15
全員協議会	15

村井町政の疑問を
4名の議員が

問う!!

一般質問



山田 秀人 議員

高齢者への補聴器購入助成は？

大高 一敏 議員

コミュニティバスの運賃については？

石澤 清司 議員

小・中学生のスマホ・携帯のトラブル
対応は？

渡辺 訓雄 議員

新富線～大岸線間の道路現状については？



高齢者への
補聴器購入助成は？



村井 洋三 町長

コミュニケーション
ツールとして調査・
研究していきます。



山田 秀人 議員

Q 質問 1
過疎地での
買い物施設建設は？

「地域住民、企業及び行政がうまく連動し、補完し合う体制が築き、事業の採算性、継続性を高める手法」を駆使しミニスーパーを建設し、過疎地における買い物弱者対策について伺います。

A 答弁(町長) 1

「地域住民、企業及び行政がうまく連動し、補完し合う体制が築き、事業の採算性、継続性を高める手法」については、非常に有効的な手法であります。買い物施設建設も、こういった手法により整備、運営されることにより継続性の高いものと認識しています。

ミニスーパーの建設は、8月31日に浜町に個人商店が開店されました。品数は決して多くはないようですが、生鮮食料品や惣菜、日用品等も取扱われています。

Q 質問 2

高齢者への補聴器
購入助成は？

難聴と補聴器の問題は、日本では障害の領域で扱われていますが、本来は医療の領域で扱われることが求められています。

先進各国ではすでに実施していますが、多くの高齢者にとっては身近な問題であり、高齢者の聞こえの支援を推進するため、補聴器助成制度の創設を伺います。

A 答弁(町長) 2

現在は、身体障害者障害(2級から6級)が、1割程度の自己負担で補聴器の費用が支給されます。(ただし、所得制限あり。)

当町では、団塊の世代が75歳以上になる2025年以降に、認知症高齢者が増加すると推計されています。その対策として、認知症を予防する観点から、人との会話を

を通してコミュニケーションを図ることが重要であり、高齢者の聞こえの支援の推進として、補聴器購入助成制度は、コミュニケーションの確保対策として有効であり調査・研究してまいります。



Q 質問 3

養殖ホタテ
大量へい死問題は？

深刻な打撃を受けている前浜のホタテ漁。急がれる漁業者への資金面の条件緩和や、漁場環境に対応した総合的な観測システムの構築が急務であり、以下について伺います。

①ホタテ大量へい死に対する原因究明の進捗状況と町の対応について。

②漁業者の経営とくらしを守る町行政の確固とした姿勢が求められますが、その認識を問う。

③青森県平内町のホタテ大量死対策は、全国の優良対策として有名であり、参考にして、関係市町と連携し、災害と同じ認識で、漁業者の経済的支援、生活支援などの対応をすべきではないか。

A 答弁(町長) 3

①については、へい死要因の解明とへい死軽減技術に重点をおいて、函館水産試験場が栽培水産試験場や中央水産試験場、渡島・胆振の水産技術指導所と連携し、調査研究が進められており、本年8月に「噴火湾のホタテ養殖における当面の養殖管理のポイント」についての提言が示されました。これまでの調査からへい死の要因として、3つの要素が示され、①気象・海洋環境、②貝の健康状態

として、仮分散、本分散では一籠に入れる貝の数を少なくする、本分散、本養成の作業は適切な時期に行うなどの提言が示されました。非常に深刻な状況にあり、提言や現状を踏まえ、関係者と協議し対応します。

②については、ホタテ養殖漁業は重要な産業の一つであり、ホタテの水揚げ減少は、地域経済に大きく影響することも認識しています。

③については、支援策として、養殖管理のポイントへの対策に対し、どのような支援が必要で可能か、漁協や関係者と協議し対応したいと考えています。





コミュニティバスの運賃については？



村井 洋二 町長

各種補助金、交付金の活用も検討していきます。



大高 一敏 議員

Q

質問 1

**浜高岡の海水による
災害対策については？**

貫気別川河口から、平成25年度完成海岸環境整備事業の辺りまでの間、住民が台風・津波・高潮が来るたび恐怖・不眠・不安に悩まされています。対策を伺います。

A

答弁(町長) 1

農地海岸整備事業を核として、波浪時における安全対策及び浸食防止対策等を進めています。事業主体である北海道では、地域の皆様との話し合いで採用された穏やかな傾斜をつけた堤防が、効果的であり問題ないと考えています。また、防災対策としてパークゴルフ場内の避難道の管理、整備を行い、円滑な避難が出来るよう対策を講じています。

Q

質問 2

**コミュニティバスの
運賃については？**

コミュニティバスの運行、利用も増えていると思います。今年度は実証実験で運賃を掛けるか検討されます。利用者の楽しみは温泉入浴ですが、特に高齢者は低額で入浴できます。運賃をいただとバス利用、しおさいの利用が低下し、町も、住民も不利益が出ると思います。運賃をいただくのか伺います。

A

答弁(町長) 2

今年度は、より使い勝手の良い運行形態を確立するために検証を行っています。現在、アンケート調査を集約し、関係当局と意見交換し、運行に向けた素案を検討しています。特にご高齢の皆様などに使い勝手の良いサービスを目的として進めています。最低限の負担をお願いすることも考えられ

Q

質問 3

**しおさい温泉、指定管理・
草刈業務委託については？**

商工会、管理・運営、しおさい温泉業務と草刈業務についてですが、最近、温泉の汚れ、渚のパークゴルフ場の芝が伸びているなどの苦情を聞きます。草刈業務委託をしたことにより、人的管理能力を超えてしまい、利用者にも大きな迷惑をかけていると思うが伺います。

A

答弁(町長) 3

温泉施設内の管理業務の状況については、草刈業務の有無にかかわらず、以前と変わりなく行っています。パークゴルフ場の草刈につきましても今まで同様に定期的に管理していると確認しています。利用者に多大なご迷惑をおかけしている状況にはないと認識してい

ますが、各施設の適正な管理運営に努めていきます。

Q 質問 4

大岸保育所、隣接公園トイレについて?

大岸保育所、完成後、1年が経過しました。施設隣接の公園トイレですが、封鎖して使用していません。保護者、利用者からも衛生的でないと言われています。対応を伺います。

A 答弁(町長) 4

大岸町民広場のトイレにつきましては、平成8年に設置され、建設費742万円、鉄筋コンクリート造で、耐用年数は50年で、後27年残っている状況です。また、解体に当たっては、400万円以上の補助金返金もあり、いままで運動会に継続して使用していたこともあり、残すこととしました。事故の無いよう扉を閉じ、衛生管理にも努めていきます。


Q 質問 5

大岸拠点施設、ベリー構想については?

拠点施設が完成し、分校もコミユニティの場として「『香り』のすみか虹のかけら」が営業しています。町長は拠点施設においてベリー構想を抱いていましたが、本町特産品のイチゴ・ブルーベリー等、6次産業に向けた加工・販売事業もこれからだと思えます。今後、どのようにベリー構想を展開されるか伺います。


A 答弁(町長) 5

ベリータウン豊浦構想は、町内において栽培、加工することによりベリーの町、豊浦としてのブランド化や高付加価値を図るもので、平成26年に立ち上げました。事業として機能するため、農家の実態調査を踏まえ、今後の計画スケジュールを出来るだけ早期に立てていきたいと思っております。




石澤 清司 議員

小・中学生のスマホ・携帯のトラブル対応は?




問



答

今後研修会の開催、トラブル相談窓口を検討していきます。



野橋 知哉 教育長

Q 質問 1

来年4月から小学校5・6年生で英語が必修になります。その対応は?

令和2年4月から小学校5・6年生で英語の教科書を使い、年70時間学習し、成績もつけられます。3・4年生は外国語活動として年35時間取り組むこととなります。英語の教員免許を持っている教諭は少なく、生徒や教員の負担が増えます。生徒数が少ない学校もあり、指導力のばらつき、地域格差が生まれるのではないかと、生徒・保護者・先生に不安の声があまりそうです。教育委員会としての取り組み、支援、財源など対応策を伺います。

A 答弁(教育長) 1

英語の教員免許を持っている小学校教諭は1名です。指導内容等の準備を学校全体で進めています。教員によつての指導力のばらつき

を小さくする研修や授業時間の増
加に対する教員の働き方改革の対
応はすでに進められています。小
規模校における教育水準の地域格
差など全教育活動においてありま
せん。教員の研修、デジタル教科
書の導入、英語科指導書の整備、
ALT・英語支援員の配置を行い、
学校・教員への支援を今後も引き
続き充実させたいと考えています。

Q 質問 2

来々年4月から小学校でプログラミング教育が必修化されます。準備は？

プログラミング教育は情報技術
の基礎知識やコンピューターを動
かす知識を身につけ、論理的な思
考力を養うのが狙いです。令和2
年4月から小学校で必修化されま
す。教科は算数・理科・総合的な
学習・音楽・家庭などあります。
先行実施している自治体もありま
すが、教育委員会として教員の研
修、予算などを含め準備は進めら
れているのか伺います。

A 答弁（教育長）2

プログラミング教育やICT教
育などの研修を受講し、フリーソ
フト等を活用しながら指導、中学
校の先生が小学校に乗り入れ授業
をしています。教科の選択、教科
でどのようなプログラミング教育
を取り入れるかを検討・協議を
しています。パソコンの整備、無
線ネットワークの整備、タブレッ
ト端末の整備などを順次進めてい
きます。30年度の総合教育会議に
おいて、共通認識に立った上で推
進しています。

Q 質問 3

**小・中学生のスマホ・携
帯のトラブル対応は？**

小学生の半数、中学生の約8割
がスマホ・携帯を所有している時
代です。トラブルとして、①長時
間利用 ②高額課金 ③知らない
人との出会い ④不適切サイトの
閲覧 ⑤著作権の侵害 ⑥不正ア
プリの侵害 ⑦不適切情報の発信

⑧悪口、いじりなどが問題にな
っています。

教育委員会主催による研修会の
開催、トラブルにあつたら必ず相
談するための窓口の開設をすべき
と考えるが伺います。

A 答弁（教育長）3

豊つ子ネットトラ3ヶ条を学校、
PTA、保護者に内容を説明して、
共通認識を図っています。学校で
は、情報モラル教育や第1・第3
日曜日をノーゲームデー等の取り
組みを実施し、トラブルに巻き込
まれることのないよう指導してい
ますし、生徒のネットコミュニケ
ーションを見守る活動を行ってい
ます。トラブルに遭遇してしまっ
た場合の相談は、子どもから親、
親から学校、学校から教育委員会
と相談体制を整備しています。今
後、研修会の開
催、トラブルの
相談は検討して
いきたいと考え
ます。

Q 質問 4

**自然災害に対処するための
保存版小冊子の発行は？**

昨年胆振東部の地震、ブラッ
クアウト、先頃の千葉県をおそつ
た台風災害、自然災害に対処する
ためには、事前の確認準備が必要
です。自分自身での備え、住宅で
の備え、家族との備え、「風水害、
土砂災害、地震、津波」の備え、
非常用品の備え、避難所、情報発
信など行き届いた災害から身を守
るためのバイブルとしての小冊子
発行をすべきと考えるが伺います。

A 答弁（町長）4

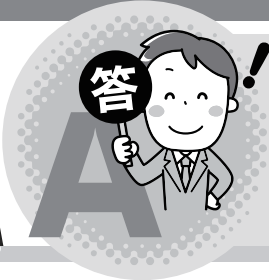
防災対策につきましては、平成
30年胆振東部地震において、あら
ためて日頃の備えや準備が必要で
あることが認識されたところで、
地域の皆様と一体となった防災、
減災の取り組みが効果的に行える
よう進めていきます。今後の自然
災害に備えるために、啓発資料の
配布を検討していきたいと考えて
います。





渡辺 訓雄 議員

新富線～大岸線間の 道路現状については？



**引き続き実現に向け
北海道へ要望してい
きます。**



村井 洋一 町長

Q 質問 1
新富線～大岸線間の
道路現状については？

ご存知であると思うが、関係者より大岸方面へ向かう時、あるいは大岸から蘭越方面へ向かう時、豊浦市街を迂回するより時間の短縮等々車種にもよるが走行時時々支障ありと聞いているが主要道路であり町作りの一環として次の事項について答弁を求めます。

- ①新富地区等より経緯と要望等の対応についてと現状の取り組み等について
- ②検証と実態等について
- ③創意工夫の取り組み等について

A 答弁(町長) 1

1点目、道道豊浦ニセコ線は大岸の国道37号線を起点とし、ニセコ町の国道5号線を終点とする総延長30.6kmの主要道道で、大岸と新富の間で未改良区間が7.6kmあり、冬期間は通行止めとなります。地域住民の生活・経済活動や流通等を考慮すると全線改良舗

装と通年での通行可能な状態が望ましいことと考え要望しています。北海道からは「地形的、費用対効果的に難しい」との回答を得ていますが先行して新富側の酪農家までの約1kmの改良舗装を要望しています。

2点目、現地を確認したところ経年による劣化や穴ぼこが目立ち走行に支障をきたす状態にあり北海道と連携し取り組みます。

また、山間部の未改良部分も十数か所の待避所が設置、平均500mに一か所と待避所間の距離があるため待避所の整備と増設が必要と考えられます。

3点目、長期的な観点から要望する事項、早急に取り組んでほしい維持的な要望事項と分けて引き続き実現に向け北海道へ要望していきます。

Q 質問 2
墓地道路の改修等について
は？(歩道も含む)

先祖墓参りは日本文化であり、

現状は駐車場スペースあり、道路には駐車禁の標識も設置されていますが、実態は利用者の様々な事情で路上駐車も多く支障ある時も見受けられ、そろそろ創意工夫し最小限の改修に向けて答弁を求めます。

A 答弁(町長) 2

東雲墓地の駐車場は、火葬場横に整備しておりますが、お墓に近い場所にということ、さらに身体の不自由な方も来られ町道脇に車を止めてお墓に行く状況で、町道の通行にも支障を来すため、以前より駐車禁止の看板を立てて注意喚起しておりますが守られていないのが実情です。今後につきましては駐車禁止ではなく、お年寄りや身体の不自由な方も来られるため専用の駐車場の設置など、一般の通行に支障がない範囲の改修を実施する方向で考えます。また、墓地施設全体を検証し整備に取り組みます。

定例会 9月会議

教育長に野橋知哉氏の 再任に議会が同意！



9月18日、19日の日程で定例会9月会議が再開され、初日は3名の議員から12件、2日目は1名の議員から2件の通告どおり一般質問が行われ、闊達な議論が展開されました。

の委員長報告どおり、各会計及び病院事業会計の決算をいずれも「認定すべきもの」と決しました。

この他、選挙管理委員会委員及び補充員選挙が行われ、原案どおり当選しました。国及び政府への意見書では、「海洋観測施設の導入・整備にかかわる意見書」のほか2意見書案を全会一致で可決しました。

さらに、2名の議員から、「大里葉子議員に対する議員辞職勧告決議について」が追加議案として上程され、審議の結果、賛成2名、反対3名、棄権1名で否決となりました。

また、条例の制定が1件、一部改正が2件、補正予算が3件、健全化判断比率等の報告があり、原案どおり可決されました。

平成30年度決算では、付託した決算審査特別委員会

議案審議

◆任命の同意

●教育委員会教育長に：

野橋知哉氏(58歳)を再任するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に基づき、議会が同意しました。

全会一致で可決！

●教育委員会委員に：

山下圭一氏(60歳)を再任するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会が同意しました。

全会一致で可決！

◆功労者表彰

●公益功労者として：

▽新山 正行氏(海岸町)
▽高橋 英男氏(船見町)
▽奥澤 隆氏(新富)

豊浦町表彰条例第3条の規定に基づき、議会が同意

しました。

全会一致で可決！

◆条例の制定

●「豊浦町森林環境譲与税基金に関する条例」

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の公布に伴い、森林の整備及びその促進に関する施策の財源として譲与される森林環境譲与税を積み立てる基金を創設するため。

全会一致で可決！

◆条例の一部改正

●「豊浦町特別職職員給与等に関する条例の一部改正」

農業委員会等に関する法律が改正され、「農地利用の最適化の推進」が農業委員会の必須事務に位置付けられたことにより、農業委員の報酬を見直すため。

全会一致で可決！

●「印鑑証明に関する条例の一部改正」

住民基本台帳法施行令等の一部が改正される政令が施行され、住民票、個人番号カード等への旧氏の記載が可能となることに伴い、旧氏による印鑑登録を行うことができるようにするため、印鑑登録証明事務取扱要領の一部が改正されたことに基づき改正する。

全会一致で可決！

補正予算

【一般会計】

《歳出》

●子どもの貧困対策計画策定業務委託事業(153万5千円)を追加！

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の改正により、今年度策定予定の子ども・子育て支援事業計画と並行して策定するため、計画策定に伴う委託料を補正するもの。

●放課後児童健全育成事業
(109万4千円)の増額！

放課後児童健全育成事業
(学童保育)の利用者増加
による施設職員の体制変更
に伴う委託料(人件費分)
のため。

●農地利用最適化交付金事
業(84万円)の増額！

農業委員のこれまでの報
酬に加え、農地利用の最適
化の推進に関する活動に対
しての報酬を支給すること
によって、農業委員会の活
動を活性化させ、遊休農地
の発生防止や新規参入等を
促進させるため。

●森林環境譲与税基金積立
(599万6千円)の追加！

森林環境譲与税が今年度
より市町村に交付されるこ
とから、森林環境譲与税基
金を設立し、来年度以降の
森林整備事業の財源として
積み立てを行うため。

全会一致で可決！

【特別会計】

●簡易水道施設及び設備の
維持管理費(220万円)の
増額！

簡易水道施設の漏水箇所
の修繕費及び桜地区の漏水
対応に係る給水運搬車輛借
上料のため。

全会一致で可決！

▼選挙

選挙管理委員会委員及び
補充員の選挙

●選挙管理委員会委員とし
て…

▽相澤 洋子氏(海岸町)

(再任)

▽高橋 浩信氏(幸町)

(再任)

▽阿部 満氏(海岸町)

(新任)

▽寺林 正裕氏(大和)

(新任)

●選挙管理委員会補充員と
して…

▽第1順位 菊地 典子氏

(東雲町) (新任)

▽第2順位 荒井 成道氏
(船見町) (新任)

▽第3順位 片岡 眞澄氏
(東雲町) (再任)

▽第4順位 河野 誠氏
(礼文華) (再任)

全会一致で当選！

▼委員会報告

(決算審査特別委員会への
付託案件)

平成30年度各会計及び国
民健康保険病院事業会計の
決算のいずれも「認定すべ
きもの」と決した！

(各会計)

賛成5名(根津、木村、

石澤、大高、渡辺の各議員)

反対1名(山田議員)

欠席1名(大里議員)

(病院会計)

賛成5名(根津、木村、

石澤、大高、渡辺の各議員)

反対1名(山田議員)

欠席1名(大里議員)

▼委員長報告

決算審査結果については、
いずれも「認定すべきもの」
と決した。しかしながら、
審査過程においては、予算
執行にあたり、事務処理の
あり方や事業効果等の検証
及び確認について、監査意
見、委員会の厳しい指摘や
改善策等が提言されている
ように、それらの意見を謙
虚に受け止めて真摯な町政
執行を求める。

予算財源については、町
税の減少、地方交付税の更
なる減少により今後も厳し
い財政運営が見込まれるた
め、事業にあたっては適時
適切に検証し、財源の確保
及び有効活用に努めるとと
もに、不能欠損額が大幅増
となつてきていることから、財
源の確保、公平性からも、豊
浦町債権管理条例等に基づ
き、不納欠損額及び滞納繰
越分の減少に向けた更なる
努力と危機感を持った取り
組み等をそれぞれ切望する。

歳出については、バイオ
ガスプラント整備事業、地
域産業連携拠点施設事業、
畜産・酪農収益力強化整備
等対策事業といった大型事
業により、歳出総額が前年
比22億6100万円の増額
となり、大型事業の償還が
令和2年度から始まり将来
負担が危惧される。特にバ
イオガスプラント整備事業
にあつては長期にわたり
運営されることから適時適
正なる効果の検証を求める。

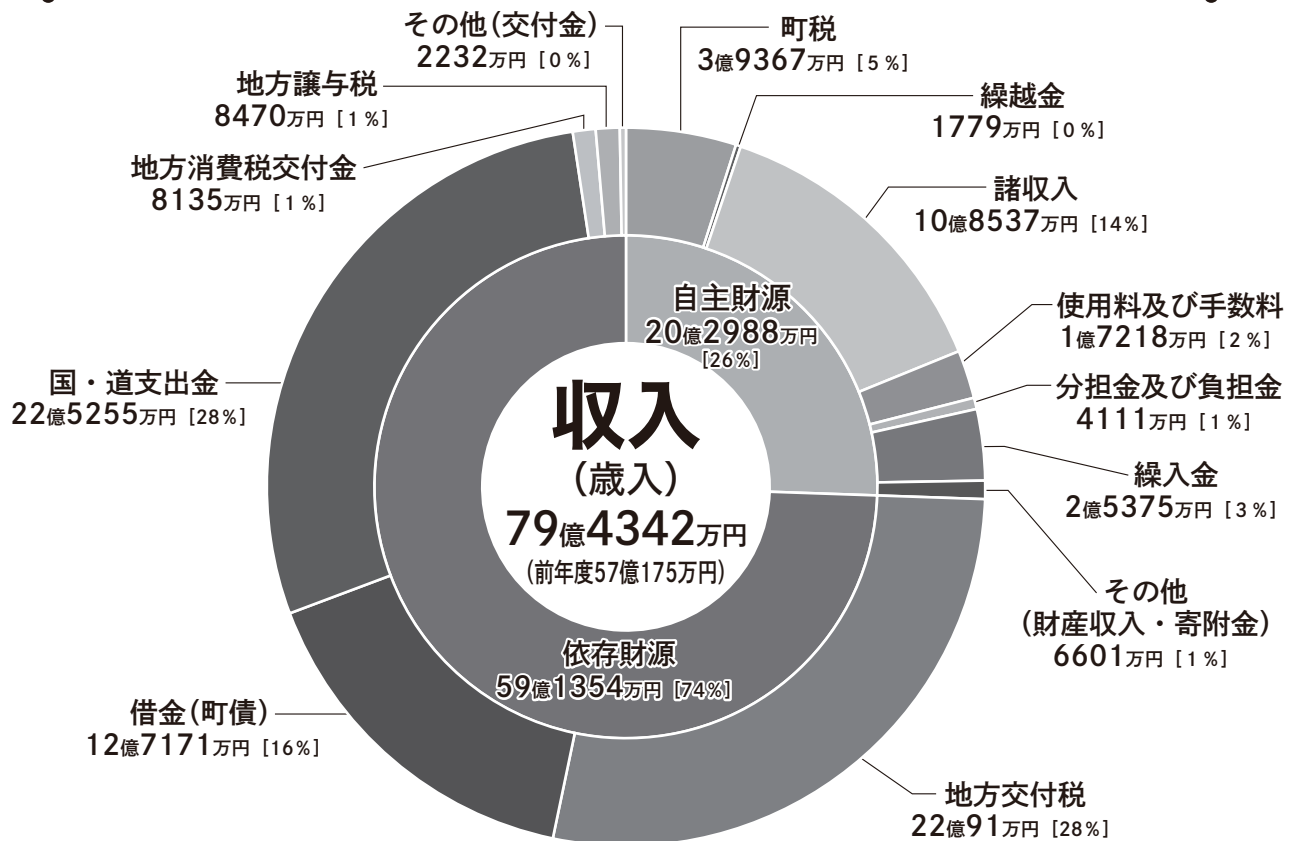
国民健康保険病院におい
ては、病院利用者の減少に
より、収益の主体である医
業収入が大幅に減収となる
など、昨年度に引き続き単
年度収支で赤字を計上し、
累積欠損額が増額となつた
が、国保病院が町民のため
の唯一の医療機関であるこ
とから、利用者に喜ばれ、
選ばれる病院となるため、
地域医療水準の向上・工夫
に努めるよう強く要望する。

決算審査特別委員会

委員長 大高 一敏

決算審査特別委員会を8月28日・29日に開催し、平成30年度各会計決算を9月定例会議で大高委員長が認定の報告をした。報告では歳入について、町税等の不能欠損額が前年比大幅増となっており、貴重な財源の確保、負担の公平性の観点からも更なる努力及び危機感を持った取り組みを求めた。歳出については、各事業の検証と管理運営の実態を確認し、将来性や費用対効果を重視した事業推進を求め、特にバイオガスプラント整備事業や地域産業連携拠点施設等の大型事業により増額していることから、適時適正なる効果の検証を行い、町民の理解を得ることはもとより、農漁業者から喜ばれる事業となることが重要であるよう求めた。

税金の使い方を確認しました！



■各会計決算

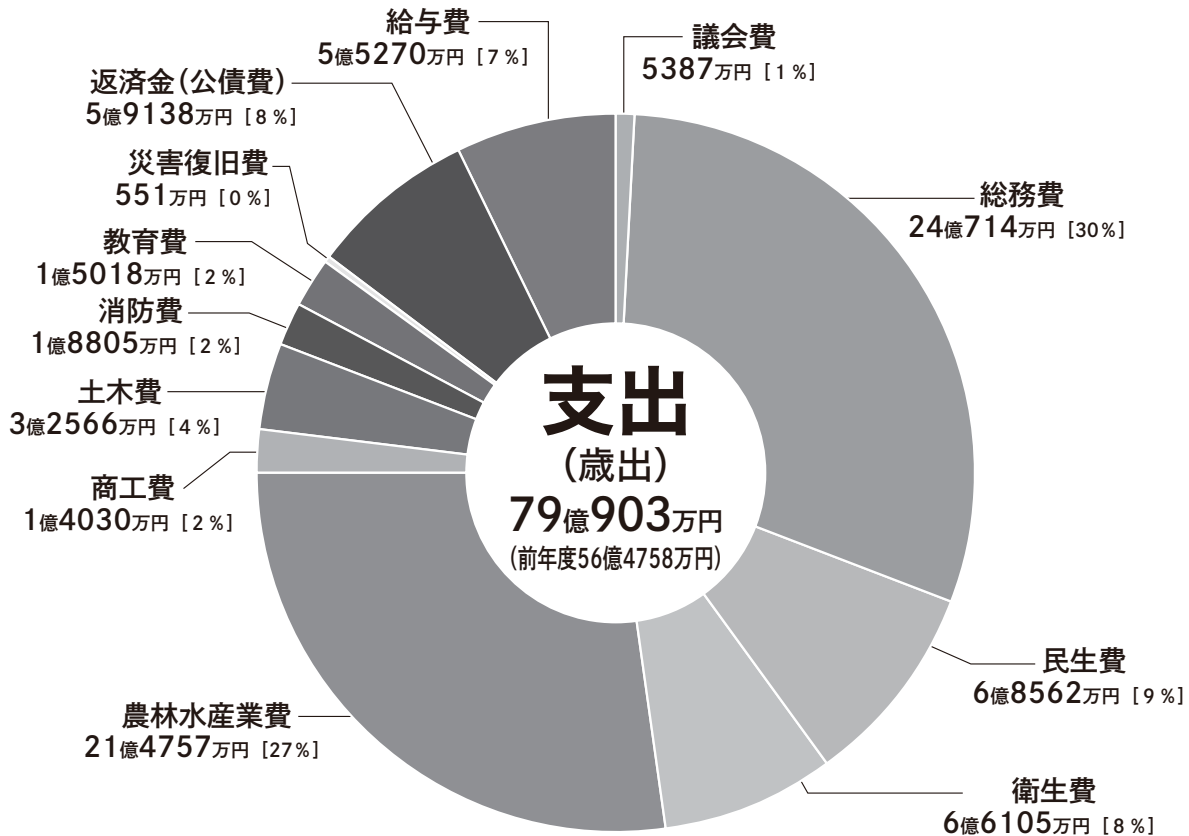
区分	歳入	歳出	差引	繰越財源	実質収支額
一般会計	79億4342万円	79億903万円	3439万円	210万円	3229万円
簡易水道	2億9159万円	2億9155万円	4万円	0万円	4万円
公共下水道	2億6036万円	2億6034万円	2万円	0万円	2万円
国民健康保険	7億946万円	7億921万円	25万円	0万円	25万円
後期高齢者保健	1億3214万円	1億3210万円	4万円	0万円	4万円
介護保険	5億3806万円	5億3806万円	0万円	0万円	0万円
総合保健福祉施設	2億7699万円	2億7699万円	0万円	0万円	0万円
合計	101億5202万円	101億1728万円	3474万円	210万円	3264万円

■病院会計決算

区分	収入(歳入)	支出(歳出)	差引	補てん	収支差引額
国民健康保険病院	6億5064万円	7億9517万円	▲1億4453万円	9698万円	▲4755万円
収益的収支 (診療報酬・運営経費)	6億3082万円	6億7837万円	▲4755万円	0万円	▲4755万円
資本的収支 (施設・設備費用と収入)	1982万円	1億1680万円	▲9698万円	9698万円	0万円

町民に喜ばれる 町政執行・運営を求む

平成30年度決算を議会が認定！



国保病院が唯一町民の医療機関であることから、経営基盤の強化に努めるとともに、地域医療水準の向上・工夫を求める！

収益の減少

病院利用者の減少等により、収益の主体である医業収入が大幅に減少するなど昨年度に引き続き単年度収支で赤字を計上していることから再度検証が必要である

経営改善への取組み

町民唯一の医療機関であることを念頭に、業務効率化によるサービスの確保を図るとともに、地域から信頼される病院を目指し取組むこと

新改革プラン等の取組み

過年度の各計画の検証、分析を行い、運営検討委員会の機能の発揮、関係機関等との連携を実施し、良質な医療の提供を求める

《監査委員報告の要旨》

決算書及び資料等については計数も相違なく正確で、予算執行も適正に処理していると認められるが、事務ミス、委託契約・補助金等に対する確認不十分等、職員の理解不足による取扱相違が散見された。事故防止のため、引き続き会計規則による「予算執行計画書」等を作成・記録し、執行状況の確認等を実施するとともに、各種取扱要綱、マニュアル等の策定・活用により、適切な確認、相互牽制を徹底し、業務の停滞防止を取扱事故・犯罪疑義防止に向け、規則等に則った取扱の励行に努めること。また、町有財産である物品等に関する台帳が未整備であるため財産管理が不適切であり、土地・建物のみではなく、物品等についても、町民から預かっている財産の認識を持ち、適正な管理を実施すること。

代表監査委員

池田 芳春

国及び政府へ意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次のとおり意見書を提出する。

「海洋観測施設の導入・整備にかかわる意見書」

提出者 大高議員 賛成者 渡辺議員、山田議員

「給食費の無償化を求める意見書」

提出者 山田議員 賛成者 渡辺議員、大高議員

「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」

提出者 根津議員 賛成者 石澤議員、木村議員

いずれも、全会一致で可決！

追加議案

◆ 発議

大里葉子議員に対する議員辞職勧告決議について

会議規則第13条の規定に基づき「大里葉子議員に対する議員辞職勧告決議について」が提出されましたが、討論後の採決の結果、

賛成2名（大高・渡辺の各議員）

反対3名（根津・木村・石澤の各議員）

棄権1名（山田議員）
欠席1名（大里議員）
で否決！

バイオガスプラント整備事業調査特別委員会

平成31年定例会3月会議において、議員発議により、バイオガスプラント整備事業

業について、事業の管理及び運営に係る不透明な部分を解消すべく特別委員会に付託したもので、第1回目（3月15日開催）の委員会では、委員長に木村辰二議員、副委員長に山田秀人議員が選出されました。

第2回目（5月14日開催）では、各委員からの調査事項を集約し、委員会でも共通認識を図ることを目的に実施しました。

第3回目（6月28日開催）では、各委員からの調査事項のうち、3項



9月24日 新山梨地区圃場視察

目について調査が行われました。

このほか、9月24日に、本プラントの残存物である消化液を散布している新山梨地区のデントコーン畑を訪問し、生育状況について現地調査を行いました。

第3回

調査特別委員会 での調査事項

調査事項1

【消化液関係について】

Q 下水汚泥が入った成分検査はどのようなになっているのか？

A 成分分析は4月中旬に行っています。

Q 特殊肥料の登録はとれなかったのか？

A 登録の届け出をして、4月25日に受理されています。道庁のほうから下水汚泥が入るのであれば普通肥料の登録が必要だということと、国の機関のほうにも確認させていただき、手続きを進めています。

Q 次から次へと原料投入なので、よく攪拌されず、発酵不十分という可能性は

ないか？

A 発酵槽はバイオガスを発酵させ、その残存物として液肥が出ると考えて下さい。

Q 汚泥は生で入るのか、肥料になった状態で入るのか？

A 脱水ケーキ(残りカス)として、バイオガスプラントに投入しています。

Q 下水汚泥も入った分の液肥の成分は出てきているか？

A 4月中旬に分析した成分に下水汚泥も入っており、普通肥料のほうの分析結果は分析機関に依頼中です。

Q 9月中ぐらいにできるのか？

A 有害成分、それと肥料の成分、そのほかに下水汚泥の溶出試験とか食害試験が終わらないと申請ができませんが、9月下旬までには何とか登録できる方向で事務を進めています。

Q 今、まかれている消化液の成分について、農家さんは理解しているか？

A 有害成分も分析の結果、基準値を大きく下回っており、特に問題はないと理解していただいています。

Q 普通肥料、特殊肥料の分け方を説明願いたい。

A 肥料取締法で、特殊肥料と普通肥料に大別され、魚カス、堆肥等を農林水産大臣が指定したものを特殊肥料、それに該当しない特殊肥料以外のものを普通肥料と法律で規定しています。

Q 消化液の散布で、新富と新山梨にそれぞれ何回行ったのか？

A 4月26日に新山梨地区のデントコーン畑に4回、5月7日から8日間で新富地区のデントコーン畑に46回散布しています。

Q 1日で新富に何回、新山梨に何回行ったのか？

A 新山梨は9時から昼ま

で4回、新富は5回〜6回、基本的には5回往復できます。

Q 本町は山坂で起伏の多い場所です。散布の状況は見たか、どのような状況だったか、オペレーターは地形に詳しい方だったか？

A 散布には立ち会っており、オペレーターは初めての方です。なるべく起伏のないような部分を選定した形で散布しています。

Q 液肥散布に当たっていろいろな課題があったのか？

A 機械に不慣れな部分、はじめての散布という部分、液肥を噴射するタイミングとか課題がありました。サブソイラーといって、散布する前に畑に線を入れたことで、平均的に浸み込んでいった感じでした。

Q 9月以降、2台の散布車を入れるが、使いなれるようになるか？

A 牧草地とか、デントコーン畑とか広いところは大きい車両がいいが、傾斜地や起伏の激しいところは小型の車両がいいということ。農家の方々の意見を聞きながら進めていきます。

Q 食害試験にも時間がかかるというが9月まで待たなくてはだめなのか？

A 普通肥料の登録を行ってその結果が出るのが9月ということ、登録をしないと散布できないことをご理解ください。

Q 消化液は、牧草にはいいが、それを食した場合、リンの成分による乳性分に影響はないか？

A 実際にふんの成分を比較した時に生堆肥より液肥のほうがリンの量は少ないという普及センターのコメントもあるが、これからも飼料試験、土壌診断を進めていく。

Q なぜ5月に成分検査を

するのか？

A 4月に行った分析は、特殊肥料の届け出を行うためであり、今、普通肥料の登録をするために、改めて追加の3項目とか、肥料の成分を再度分析します。

Q なぜ特殊肥料に汚泥を入れて普通肥料にしなければならなかったのか？

A 今まで新富地区で下水汚泥と堆肥を混ぜて散布していたが、土壌診断の中で若干亜鉛濃度が高くなり、散布できなくなり、処理費用の関係からバイオガスプラントに投入することになった。

Q 下水汚泥が投入されることで将来に不安要素を感じる。汚泥を使う前に、なぜ議会に対して意見を求めるぐらいの姿勢がとれなかったのか？

A 予算のときに担当が説明したが、議会の理解を得ていなかったことに申し訳なく思う。

Q 消化液衛生工程における殺菌槽の温度と時間は？

A 殺菌槽を通すことで有効な微生物が高温で死んでしまうので、消化液を有効に使うため、発酵槽の中で温度42度で十分発酵するので殺菌槽はいらなかった。

Q 寒冷期における原料の凍結は？

A 牛のほうは多少凍りますが、混ぜると煙が出ます。豚のほうは凍った話は聞いていません。

によって、十分発酵して「海の恵み」として堆肥化されています。

Q 水産残渣水とあるが、これはどう解釈すればよいのか？

A これは水産系雑物という形で理解してください。

Q 水量20トンの使用ということで、地下水を使っているが、将来水が少なくなる心配はないか？

A 水は豊富にあると思っ

Q 漁協からの原料は、シャワーリング前後に計量しているのか？

A 最初は計量するが、ハザカに戻すときは計量してないため、有機物がどれくらい取れたかも量れる形で今後進めていきます。

分析結果を報告させていた

Q 今まで試験の段階で機器等に異常が発生して警報機が鳴ったことは？

A 警報は結構出ています。多いのは発電機で、現場に

Q 原因は発生したガス関係なのか、発電機の調整部分なのか？

A 発電機自体の調整部分と、ガスの発生との調整で警報が出て早急に対処しています。

調査事項2

【原料関係について】

Q 今回汚泥が入ったことで補助金の問題はないか、また、性能保証の部分で問題はありますか？

A 投入原料よりもCO₂削減量が主であるので問題はあります。性能保証についてもコーンズと協議しており問題ありません。

Q ホタテの身に有害物質があると聞いているが、それは入らないのか？

A 絶対に入らないとは言えないが、有害成分はほとんどないような形で出ているのでほ問題ありません。

Q 悪臭はハザカのものか、プラントのものか検証を。

A バイオガスプラントは、液肥貯留槽を除いて密閉型です。外部に臭いが逃げるといことはないと聞いています。

Q 今の状況の原料でいくと、当初想定していたガス発生量が確保されると理解していいか？

A 今58%あるので燃料に問題ないが、濃度が高くなることによつてどうなるのか、コーンズと協議し、どういった相関図になるのかも含め、今後示していきたい。

Q 機械に異常が生じたときの責任の所在は？

A 機器の調整部分で警報が出て対処してもらった部分は、基本的には町の責任ではありません。

Q 水産残渣の中に入ってくる不適物の処理は？

A シャワーリングで有機物だけをとりまわすし、さらに分離機のサイクロンを回してごみをとっています。

Q シャワーリング後の貝だけをハザカに戻しても、それはプラスにならない。そのために副資材を使うのでは？

A シャワーリングで100%有機物がとれるわけではなく、副資材を使うこと

Q 汚泥処理の関係で、今まで新富の組合にお金を払って持つて行ってもらったのか？

A 新富の堆肥生産会で農地還元をしたということ。年間336トン、トン1万円を支払っていた。

Q それはいつ頃を目的に、また、今の原料だけでいいと捉えていいのか？

A 現時点では、今の現状で大丈夫と伺っています。その辺も含めコーンズに確認しながら9月頃を目的に

Q 機械に異常が生じたときの責任の所在は？

A 機器の調整部分で警報が出て対処してもらった部分は、基本的には町の責任ではありません。

調査事項3

【バイオガス関係について】

Q 今の状況の原料でいくと、当初想定していたガス発生量が確保されると理解していいか？

A 今58%あるので燃料に問題ないが、濃度が高くなることによつてどうなるのか、コーンズと協議し、どういった相関図になるのかも含め、今後示していきたい。

Q 原因は発生したガス関係なのか、発電機の調整部分なのか？

A 発電機自体の調整部分と、ガスの発生との調整で警報が出て早急に対処しています。

注：文中のコーンズとは、委託業者のことです。

定例会 7月会議

豊浦中学校に設置する
サーバーの購入契約
締結議案を否決！



7月10日に定例会7月会議が再開され、定例会6月会議にて随意契約であったため、指名競争入札にすべき等として否決された「財産取得契約の締結議案（豊浦中学校サーバー更新事業）」が、反対4名で再度否決となりました。

▽議案審議

◆専決処分の報告

▽契約の締結

・「工事請負契約の締結」

簡易水道施設電気計装設備更新工事として：

契約金額：6985万円

契約の相手方：新栄・日野

特定建設工事共同企業体

契約の方法：指名競争入札

全会一致で可決！

・「財産取得契約の締結」

豊浦中学校サーバー更新事業（サーバー1台）として：

契約金額：599万1516円

契約の相手方：北海道市町村備荒資金組合

契約の方法：指名競争入札

反対討論の趣旨↓6月に否決したときの総意が反映されていない。

賛成討論の趣旨↓6月の否決を踏まえ指名競争入札にし、かつ、入札結果も100万円以上安くなったことを踏まえて。

賛成3名（根津・大里・木村の各議員）、反対4名（山田・石澤・大高・渡辺の各議員）で否決！

定例会 8月会議

プレミアム付商品券事業に関する補正予算を可決！



8月23日に定例会8月会議が再開され、補正予算が1件、平成30年度各会計及び病院事業会計の決算の認定についてが上程され、決算の認定については決算審査特別委員会に付託されました。

補正予算

【一般会計】

《歳出》

・プレミアム付商品券事業（633万6千円）を追加！

消費税10%への引き上げ

による低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費の喚起等を目的とするもの。

賛成4名（根津・大里・木村・石澤の各議員）、反対2名（山田・大高の各議員）、欠席1名（渡辺議員）で可決！

全員協議会

令和元年9月11日(水)

協議事項

▽報告事項

財産取得契約の締結について（豊浦中学校サーバー更新事業）

定例会6月会議、7月会議に上程し否決となっていた豊浦中学校サーバー更新事業ですが、町内業者が参

加できる仕様内容に変更するとともに、豊浦中学校が無線化されていないため、その無線化をする事業を追加した仕様書に変更して入札を行いました。

予定価格が700万円を超える財産の取得は議会の議決が必要となりますが、本件は700万円を下回る予定価格となったため、議会の議決は不要となり、全員協議会で報告されました。

・「財産取得契約の締結」

豊浦中学校サーバー更新事業として：

契約金額：630万8500円

契約の相手方：北海道市町村備荒資金組合

契約の方法：指名競争入札



議会報告会の追加回答

議会だより153号（8月13日発行）

掲載記事「町民の声」に対しての回答で、「当局に報告させていただきまます」について当局から説明を受けましたのでご回答します。

質問：道道大岸礼文停車場線の改良工事はどういう状況であるのか、途中経過も含めて説明してほしい。

回答：自民党北海道第9選挙区支部の移動政調会が9月21日に当町役場で開かれ、村井町長より要望書を提出し、陳情しました。その中で、同線の整備促進として、最も危険な箇所、延長700メートルの早急な整備が必要と説明されました。

胆振総合振興局の担当者からは、本来、今年度工事が再開するはずでしたが、昨年度の胆振東部地震の発生により、次年度に延期になり、1億数千万円の予算要求をしているところで、危険箇所の法面・落石対策を行い、次にトンネル予定の地盤調査、その後、トンネル工事に着手

することになっていきます。いずれにせよ、生活、ジオパーク、観光、礼文・大岸漁港の路線として整備していきます。また、砂利道の凹凸は現場を確認し対応させていただきます旨、回答がありました。

質問：バイオガスピラントがどこに建設されているかわからない人が大勢います。一度見学会を行ってほしい。

回答：10月29日（火）に見学会を開催します。（実施済み）

質問：町民の意見を聞く町政懇談会をやっているのでしょうか？ 行政として受け止める場所が必要で、そのような機会を得ていないと思う。受皿となっていない議員も責任があると思います。

回答：現在は一堂に会する町政懇談会は行っていませんが、議会としては6月4日に議会報告会を開催させていただきました。今後、各種団体との懇談会を検討しています。今後とも町民の皆様の声を聞く機会を工夫して行っていきたいと考えています。

議会を傍聴してみませんか？

町議会は、まちの予算や身近な問題について話し合う大切な会議です。

- ▶ 手続きは簡単です。議会事務局（役場3階）までお越し下さい。
- ▶ 日程等議会傍聴に関するお問い合わせは…

議会事務局 **TEL 83-1419**（直通）

へお気軽にどうぞ。

表紙写真の説明

9月14日 大岸保育所運動会

パソコンから動画で議会のように見られます。

豊浦町のホームページ

検索

豊浦町議会→議会中継にお進みください